

平成 30 年 3 月 吉日

第 4 回 錬武館流防具付空手道オープン選手権大会のご案内

日本錬武館流空手道
総帥 坪山修一

謹啓

春暖の候、先生方には益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

さて、このたび下記要領にて第 4 回錬武館流防具付空手道オープン選手権大会を 開催する運びとなりました。

つきましては是非とも貴会派・道場よりご参加賜りたく、ご案内申し上げます。

謹白

記

1. 主 催： 日本錬武館流空手道 錬誠館・真錬会
2. 後 援： 日本武道礼法道連盟・南千住スポーツクラブ
3. 日 時： 平成 30 年 5 月 13 日(日)
8:45 開場、9:30 開会式、10:00 試合開始、17:00 終了(予定)
4. 場 所： 荒川区立汐入小学校体育館
住所：東京都荒川区南千住 8-2-3
(JR 線・日比谷線 南千住駅より徒歩約 10 分)
※駐車場は近隣をご利用下さい。
5. 競技種目： 形・組手試合(参加人数によりクラスを変更する場合があります)
<形試合(トーナメント方式)>
小学 1・2 年生の部(男女) 中学生の部(男女)
小学 3・4 年生の部(男女) 高校・一般有級者の部(男女)
小学 5・6 年生の部(男女) 高校・一般有段者の部(男女)

<組手試合(トーナメント方式)>
幼児の部(男女)
小学生の部(男子は学年毎、女子は 3 クラス)
中学生の部(男子は 2 クラス、女子は 1 クラス)
高校・一般女子の部(1 クラス)
高校・一般男子有級の部(1 クラス)
高校・一般男子有段の部(1 クラス)⇒有級者でも希望により出場可とします。
シニアの部(45 歳以上 1 クラス)

6. 参加費： 高校生以下 3,500 円(形・組手両方出場の場合は 4,500 円)
一般 4,000 円(同 5,000 円)
※弁当は支給しません。

7. 申込方法： 以下どちらかの方法でお申し込み下さい(極力①をお願いします)。

①下記アドレスに参加申込書ファイルを請求頂き、メールで送信して下さい。

kengo119211921192@hotmail.co.jp (山脇 研吾)

②別添参加申込書を以下宛先に FAX で送信して下さい。

048-760-1664 若林芳雄

※参加費は以下口座にお振り込み下さい(手数料は申込者負担)。

三菱 UFJ 銀行 大森支店

普通預金 1266777 山脇研吾(やまわき けんご)

(ショートノーツにて誠に恐れ入ります。)

8. 競技に関する注意事項

<形試合>

1 自由形とします。

2 中学生以下は準々決勝までは 2 分以内とします(2 分を超過した場合は失格となります)。
全て同じ形を演じることもできます。

3 高校・一般の部は時間制限を設けません。但し、準決勝からは、準々決勝までに演武した形と異なる形を演じることとします。準決勝から先に進むためには最低 2 種類の形を用意する必要があります。

<組手試合>

1 日本武道礼法道連盟防具付空手道試合規定(別添)により行います。

2 面はスーパーセーフ・K プロテクター系統の強化プラスチック製のものとします。目の部分が空いているメンホー等は不可。色は原則白色とします。他の色を認める場合もありますが、赤色は誤審防止の観点からお避け下さい。

3 胴は K プロテクター(赤・青色リバーシブル)かそれに類するものとします。

一般男子の部は必須とし、主催者側でいくつか予備を用意します。それ以外の部はスーパーセーフ等も可としますが、誤審防止の観点から赤単色のものはお避け下さい。

4 サポーターは布製ものとし、拳・脛とも必須とします。脛用サポーターは足甲を覆うものとします。色は原則白色としますが、それ以外の色を認める場合もあります。

9. 照会先:

真錬会 山脇研吾

Tel: 090-3140-5845

Mail: kengo149214921492@docomo.ne.jp

以 上

日本武道礼法道連盟 防具付空手道試合規定

| | |
|---------------|--|
| 1. 試合場 | 8m×8mの四角形コートとする。 |
| 2. 試合時間 | 一般男子(高校生以上)の部:2分 上記以外:1分半 を原則とし、大会主催者が決定する。 計時方法については「正味」(競技が中断されている間は計時しない)・「流し」(競技が中断されていても、主審(乃至は監査)がタイムをかけた時以外は計時する)がある。いずれを採用するかは大会主催者が決定する。 ※第2回錬武館流防具付空手道オープン選手権大会においては「流し」とする。 |
| 3. 審判構成・副審の位置 | 主審1名、副審4名、監査1名とする。審判員が不足する場合は、副審を2名とすることもできる。 副審4名の場合、副審は各コーナーに位置する。 副審2名の場合、副審は主審から見て「右奥と左手前の対角線上のコーナー」か「右奥・左奥のコーナー」のいずれかとする。 |
| 4. 攻撃部位 | 安全防具面部:面部の顔面部及び耳側面部 安全防具胴部:胸部と腹部及び防具の側面部 |
| 5. 防具・サポーター | 面はスーパーセーフ乃至はKプロテクター系のプラスチック製のものとする。 胴もスーパーセーフ乃至はKプロテクター系とする。 拳・脛サポーター(足甲付)は布製のものとする。 防具・サポーター・ファウルカップ(男子の場合)の着用は必須とする。 マウスピースの使用を推奨する。 |
| 6. 勝敗 | 一本勝負制とする。 試合時間内に一本が決まらなかった場合は、ポイントの多い方を勝ちとする。 ポイントも同点の場合は、延長戦或いは判定によって勝敗を決する。 |
| 7. 一本の定義 | 以下のいずれかを一本とする。 1 正しい姿勢と充実した気迫、適正な間合いで強烈な突き、蹴り、打ちが定められた攻撃部位に決まり、相手がダウンするか、或いは技の衝撃によりバランスを崩す乃至はふらついたとき。 2 足払いにより相手が転倒した際に瞬間的に適正な間合いで仮当て(寸止め)を決めたとき(※足払いが認められたクラスに限る) 3 3連続技が確実に決まったとき(途中に相手のポイントを挟んだ場合は対象外) 4 技有りが2回決まったとき 5 4ポイント差がついたとき |
| 8. ポイントと各技の定義 | 一本:4ポイント 技有り:2ポイント 有効:1ポイント (技有り1回と有効2回は同列) |

| | |
|----------|--|
| | <p>技有りとは一本に準じる技。 具体的なイメージとしては、相手が防具をつけていなければ倒れていたであろう強度の技。さらには引き手が確り取られているなど、空手固有の技としての完成度も求められる。</p> <p>有効とは技有りに準じる技で相応に威力のある技。但し、以下を含む。 ✓ 足払いに因らずして相手が転倒した際に瞬間的に適正な間合いで仮当て(寸止め)を決めたとき ✓ 背面への仮当て(寸止め)</p> <p>各技は、主審の「やめ」がかかるまでは加点される。すなわち連続技・相打ち(同時打ち)・後打ち(打たれた後の返し技)の全てが有効以上の技であれば加点される。</p> |
| 9. 延長戦 | <p>同点の場合、1度目は原則として延長戦を行う(判定は行わない)。試合時間は延長戦より短くすることができるが1分以上とし、且つフルタイムとする(先取りは採用しない)。 延長戦で勝敗が決しない場合は、判定を行う(引き分けにはしない)。但し、決勝戦等、審判団が特に認めた場合は再延長戦を行うこともできる。</p> |
| 10. 禁止技 | <p>①定められた部位以外への攻撃(ローキック、金的・背面への攻撃等) ②掌底打ち ③バックハンド(体の回転を伴うもの) ④膝蹴り ⑤肘打ち ⑥顎に対するアッパー ⑦掴み・掛け・投げ技(但し、足首下への足底での足払いについてはマットがある場合や一般有段者の部に対して認める場合がある) ⑧頭突き・体当たり ⑨転倒者への直接打撃 ⑩その他、明らかに危険技とみなされるもの</p> |
| 11. 禁止行為 | <p>①場外逃避 ②試合時間を空費させる行為 ③罵倒、挑発的言動、相手の人格を無視するような言動・態度</p> |
| 12. 反則等 | <p>場外以外の禁止技・行為を行った場合は、 1回目:警告 2回目:反則注意(相手に1ポイント) 3回目:反則(相手に2ポイント) 4回目:反則負け 但し、重大な反則の場合は、1回目で反則注意～反則負けもあり得る(その場合は審判団協議の上決定する)。</p> <p>場外の場合は、 1回目:場外警告</p> |

| | |
|-------------|--|
| | <p>2回目:場外注意(相手に1ポイント)</p> <p>3回目以降:場外注意(相手に1ポイント)</p> <p>なお、場外を含めた反則は、本戦後クリアされる(延長戦においては本戦中の場外・反則は勘案されない)。</p> |
| 13. 異議の申し立て | <p>試合者は審判員の判定に対し直接異議を申し立てることはできない。審判員の判定が試合規定に反していると認められる場合は、試合者の所属団体責任者が監査に対して異議を申し立てることができる。</p> |